

令和 2 年度事業報告及び活動決算書

1. 令和 2 年度事業全般の経過

当法人の令和 2 年度事業については、事業計画に基づき取り組みを行いました。

農地の有効活用として継続して進めてきた大豆・そばの栽培については、機械利用事業により栽培の支援を行いました。大豆は生産から販売までの一連の事業支援を行いました。年々栽培者及び作付面積が減少している状況であり、令和 2 年度大豆栽培は 7 月の長雨による湿害、8 月の高温の影響により生育不良が多く収穫量は大幅に減少となり、農産物検査の等級においても 3 等・合格品が主体となり品質においても厳しい結果となりました。地域農業の将来の発展を目指す事業では、農業振興センターの「果樹新技術等研究プロジェクト」において設置した座光寺モデル園の管理作業を JA 等と協力して行いました。又、農産物栽培加工研究会等と連携し新たな技術・農産物の研究等農業振興の取り組みを行いました。

2. 農業の担い手確保と育成

(1) 担い手確保の取り組み

新規就農につながる取り組みとして、飯田市農業振興センターの農業研修生受入制度により農業研修生を 1 名雇用し、JA 農業研修（2 年目）へ参加しました。きゅうり・市田柿を中心とした研修を受講し、住宅・農地等を探し令和 3 年 3 月末で退職し就農しました。

(2) 多様な担い手の確保・育成

短期間に作業が集中し雇用者を求める農家が多い市田柿作業の労働力確保に向け、市田柿加工作業、剪定作業の講習会を農業振興センターと協力し開催しました。特に加工作業講習会では始めて体験する方もいましたが、新たな労働力として期待する講習会となりました。

3. 農地の有効活用

(1) 大豆・そばの生産支援

農地の有効活用を目的とした大豆・そばの栽培は、普及拡大を目指した支援の取り組みを引続き実施しました。栽培技術向上への取り組み、大豆・そばの種子申込受付及び播種・収穫作業の機械利用事業による栽培者への支援を行いました。

【主な事業】

○令和 2 年産大豆・そば栽培説明会はコロナの影響で中止し、書類の送付にて確認をした

○大豆・そば種子申込受付 申込者：大豆 20 名 149kg（前年 21 名 175kg）
そば 10 名 99kg（前年 8 名 101kg）

① 大豆契約栽培の取り組み

旭松食品㈱との連携による大豆「つぶほまれ」の契約栽培を継続しました。生産拡大には栽培技術向上を図ることが重要であり、病虫害防除の徹底等を南信州農業改良普及センター及び JA みなみ信州の協力により、圃場巡回指導を実施し品質向上に取り組みました。本年度

は農産物検査にて2等となる出荷が2.9%、3等が51.9%と全体的に長雨の影響で品質は前年に比べてやや不良となりました。販売単価については、旭松食品(株)との交渉により昨年度と同様の価格での販売となりました。

【主な事業】

- 大豆播種前契約説明会はコロナの影響で中止し、資料の送付にて確認をした
- 8月7日 圃場巡回指導の開催(17件)
- 12月24日 第1回大豆検査・出荷受入・販売
- 1月22日 第2回大豆検査・出荷受入・販売

【取扱数量】

○農水省農産物検査基準に基づく検査結果 (全域出荷分)

等級	2等	3等	合格	規格外	計
数量	210 kg	3,754kg	3,270kg	0kg	7,234kg
比率	2.9%	51.9%	45.2%	0%	100.0%

○大豆契約栽培出荷量の推移

		H28年	H29年	H30年	R01年	R02年	前年比
市内	件数	25	17	12	12	11	91.7%
	面積(a)	440	436	170	211	159	75.4%
	数量(kg)	6,337	3,080	2,514	3,750	2,034	54.2%
市外	件数	6	7	10	8	9	112.5%
	面積(a)	223	208.1	241	231	265	114.7%
	数量(kg)	1,540	2,680	4,020	2,900	5,200	179.3%
総数	件数	31	24	22	20	20	100.0%
	面積(a)	663	644.1	411	442	424	95.9%
	数量(kg)	7,877	5,760	6,534	6,650	7,234	108.8%

② 播種機及びコンバイン他機械利用事業

大豆・そば栽培の播種・収穫機械利用については、JAみなみ信州との業務委託により、利用効率の良い播種と刈取りを行い生産者への支援を行いました。コンバイン機械利用事業の利用者は栽培者の減少と共に減少しており、昨年度の阿智の中古コンバイン購入、今年度の生育不良により刈取り利用が大幅に減少となりました。また、JA川路事業所へ設置している大豆の選粒機についても利用数量は減少となりました。

【機械利用取扱実績】

		件数 (戸)	面積 (a)	利用料金 (円)
市内大豆	播種	6	91.0	75,900
	刈取り	16	227.0	263,120
市内そば	刈取り	27	630.0	691,240
飯田市 計		49	948.0	1,030,260
市外大豆	播種	0	0.0	0
	刈取り	1	10.0	20,900
市外そば	刈取り	6	178.0	320,100
市外 (町村) 計		9	261.0	456,492
合 計		56	1,136.0	1,371,260

▶ 大豆選別機利用 (川路) : 利用者 7 名 利用数量 1,548kg

(2) 荒廃農地の発生防止

遊休農地等を再生し有効活用するための整備作業に歩行型草刈機 (ハンマーモア) 等の貸出しにより、農地の保全・荒廃防止の取り組みを支援しました。

○ハンマーモア貸出利用件数 9 件 / 整備作業面積 192.6a

4. 地域農業の将来の発展を目指す

◇プロジェクト事業の詳細は、農業振興センター本部会議資料にて確認をお願いします。

(1) 果樹新技術等研究プロジェクト

飯田市農業振興センターの令和元年度事業として、果樹作業省力化を目指した新技術の研究、導入に向けた果樹新技術等研究プロジェクトによりモデル園圃場の設置が進められ、当法人は本年度設置された座光寺梨モデル園圃場の農地借用及び苗木定植後の灌水・除草・農薬散布作業等の管理作業を作業委託により実施しました。

(2) 農産物栽培加工研究会との連携

研究会が進めている玉ネギの新たな作型栽培 (セット球栽培) 実証試験に協力しました。研究会では玉ネギセット球栽培方法の育苗・定植時期・栽培・収穫等に一定の成果が得られたことから普及段階へ移行し、農業振興センター広報「みどりの風」にて玉ネギセット球の自家用栽培希望者を募集し 28 名の申込者に対する栽培説明会等を協力して行いました。また、ジャガイモ (でじま)、さつまいもの栽培等、今後の農地の有効活用につながる品目を研究する取組みを連携して行いました。

令和2年度 特定非営利活動に係る活動計算書

自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日

(単位：円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1 受取補助金			
受取補助金	2,210,484	2,210,484	
2 受託料収入			
受託料収入	0	0	
3 事業収益			
事業収益	1,884,862	1,884,862	
4 その他収益			
雑収入	0		
受取利息	153	153	
経常収益計			4,095,499
II 経常費用			
1 事業費			
① 人件費			
給与手当	2,135,046		
法定福利費	346,583		
人件費計		2,481,629	
② その他経費			
種 苗 代	0		
委 託 料	2,322,772		
消 耗 品 費	9,988		
燃 料 費	34,894		
賃 借 料	70,840		
修 繕 費	171,702		
支 払 手 数 料	13,530		
旅 費 交 通 費	0		
支 払 保 険 料	116,410		
租 税 公 課	66,900		
減 価 償 却 費	922,172		
その他経費計		3,729,208	
事業費計		6,210,837	
2 管理費			
報 酬 費	173,800		
雑 費	39,069		
管理費計		212,869	
経常費用計			6,423,706
当期経常増減額			-2,328,207
法人税、住民税及び事業税			71,000
当期正味財産増減額			-2,328,207
前期繰越正味財産額			9,897,527
次期繰越正味財産額			7,498,320